

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 キッズウィル

公表日 令和7年1月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	5		部屋の広さに限界がある 座る場所に困ることがある
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	5	スッキリ見えるように構造化に取り組んでいる	バリアフリーではない 教具が多いので、狭く感じる
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2		それぞれに合わせた空間をつくれるほど教室内の広さに余裕がない
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	なるべく集中できるような仕切りなどを利用したりして工夫している	部屋の確保が難しい
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	記録を残し、情報共有を行っていく	勤務体制などにより、一斉の振り返りが難しいことがある
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	ミーティングを実施する お茶会などを企画するなど、要望に応じていく	勤務体制などにより、一斉の振り返りが難しいことがある
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	ミーティングを実施する	もっとスタッフ間の会議をしたほうがよい
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		現在実施できていない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修頻度を増やしていく 内容の充実を図る	また研修を開催してほしい
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3	現在作成中である	公表は分からない
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		もっとたくさん共有してほしいと思うがある 程度の把握のみとなっている
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	アセスメントや日々の活動報告時にも、課題点や生活で気になっていることなどを検討し、サービス計画へ取り入れるようにしている	情報整理が行いやすく、かつ活用方法を工夫しながら実施できるようにしていきたい
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3	日々の話し合いや、ミーティング、メールでのやり取りを行っている	家族の意向と事業所内での課題点の相違について、どのように考慮していくか、工夫・改善する必要がある
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	情報共有・振り返りを行いながら支援を実施するようにしている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	アセスメントを活用し、定着具合を判断できるようにしている	日々のやり取りの中でのことや、送迎時の会話などから・・・といった細かい情報の共有・利用方法について検討していく必要がある

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	キッズウィル			公表日	令和7年1月10日
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個々の学習と、小集団でのカードゲームなどの時間を作り過ぎている	時間とスペースの区切りが難しい
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	曜日ごと、カレンダーでの予定に対して実施内容を確認しながら準備している	変更等があった場合、分担などの調整が難しい時がある
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	その日の問題点は、業務終了後に話し合うなどを実施 次回への改善点などを検討している	問題点などを話し合い、次回改善する場を設けているが、改善案が有効かどうかという点の検証が不十分となっている
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の療育内容の記録、保護者への報告は毎日実施している	問題点などを話し合い、次回改善する場を設けているが、改善案が有効かどうかという点の検証が不十分となっている
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	3	定期的にアセスメントを記載してもらい現状の把握を行っている	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	本人、家族支援など様々な体験活動を通じて円滑に行えるように取り組んでいる	地域支援等、今後検討していく
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	スケジュールや活動内容を記載し、こども自身が選択できる環境を提供している	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	学校との連携をとりながら、療育内容を検討している	他の機関とのつながりが少ない
28	(28～30は、センターのみ回答)	5	0	事前に利用予定表に記載をお願いし、変更はその都度連絡をもらうように体制を整えている	保護者からの送迎時間、学校からの下校予定を繰り返し確認を行っているが、急な変更や情報共有されなかった場面などがトラブルとなっている
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	5		対象者なし
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	3		学校卒業後の話などは提供しているが、対象者が少ない
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	5		
31	(31は、事業所のみ回答)	0	5		要望があれば検討する
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	参加している	スタッフへの情報共有を密に行っていく必要がある
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	LINEやノートを活用し、情報の共有をはかっている	ちょっとした情報でも漏れなく共有していくという点は難しい
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0	5	家族向けの研修、勉強会、などの機会を作っていく	機会があるといいと思う
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	説明が不足しているという意見を受け、説明をする機会をもつようにする	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	3	アセスメントなどから家族の意向などを確認する機会を設けている	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズウィル		公表日 令和7年1月10日			
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	説明が不足しているという意見を受け、説明をする機会をもつようにする	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	随時行っている	面談ができる人材を育成した方がいいと感じている。利用者全体に随時相談を受けていることが周知できていない
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	0	5	不定期に開催	定期的に保護者間のつながりが持てる機会を提供していくようにする
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	苦情があった際、その都度対応していくようにしている	家族からは対応が不十分であると感じている場面もあるようなので、どこまで対処していくべきかチームとして検討する
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	2	毎月のカレンダーで活動予定、活動概要について発信している	紙の情報であると、活動内容などが全てみられるわけではないので、もう少し情報量多く提供できる媒体の検討をする
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	持ち出し等注意している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	吃音や、聴覚、表出などそれぞれの気になっている部分など、スタッフ間で情報共有し、同じ対処となるよう留意している	再度確認をしなければならない場合など、繰り返し質問をする際の声かけなど、気をつけていきたい
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	2		実施していない
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	マニュアル等策定済み	マニュアル配布、訓練実施の報告などもおこなっているが、個々に対面で説明が行えていないので周知が不十分であるという点がある
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的に訓練の実施と見直しを行っている	実際に発動したと想定して、不十分なところが不確定である
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		服薬の対象になっている子に対して確認を実施している 現在、対象者なし
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	保護者に確認を取りながら対応している	聴き取りやアセスメントから、アレルギーに対しての情報共有を行っているが、一つ一つのものへの判別が難しい場面がある
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	安全計画作成済 研修、訓練等実施	救出訓練が実施できていない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	緊急時等のマニュアルを作成、家族に配布 周知をはかる	マニュアルを掲示しているが、保護者の目の届くよう公表する媒体を検討していく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	事業所内で情報を共有し、再発防止に取り組む	研修・ケース会議等を行い、今後の取組に繋げていくようにする
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事業所内での研修を実施	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	身体拘束があり得る場合を想定して、サービス計画に記載している	突発的な身体拘束となる場合もあるかと想定するが、現状拘束をする場面はない
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				